

CI 療法 (Constraint-Induced Movement Therapy)

CI 療法とは、脳卒中ガイドライン（2015）でグレード A（行うよう勧められる）とされている効果的な上肢機能アプローチのひとつです。

当院における CI 療法実践スケジュール

- ①麻痺のある手を日常生活で使うことが大切であるということ、担当 OT から同意書を用いて説明、一緒に学習していただきます。

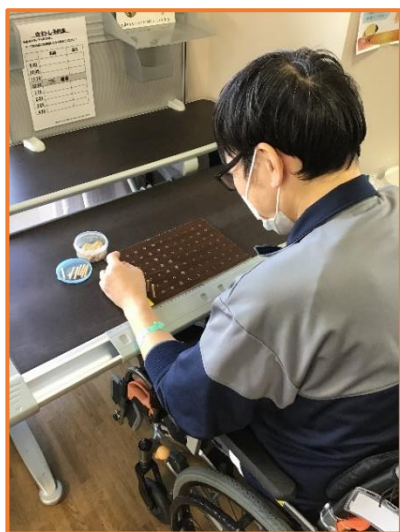


- ②麻痺した手をどのように使用していくか目標を立てます。目標設定は個々に合わせて行いますが、ADOC-H（「手」に焦点をあてたりハビリテーションの目標設定を支援するアプリ）も利用します。



- ③手指機能の評価を実施した後、自主トレーニングの方法を指導いたします。加えて、日常生活で実践する動作（例：両手で新聞紙を持つ、麻痺した手で茶碗を持つ等）を決めて、実施したことを記録していただきます。

CI 療法を実践している様子



自主トレーニングの様子



お碗を持つ練習

(日常生活での麻痺手の使用)